

○ 京都古文化保存協会「京都非公開文化財特別公開」



文化財保護の普及啓発を目的に、普段は見ることのできない寺社の秘宝・秘仏等を公開する公益事業。毎年春・秋の2回実施し、拝観料は文化財修復などに充てられます。特集紙面、トークイベントの開催等による広報や運営補助を担います。

・朝日新聞記事まとめ [京都非公開文化財特別公開](#)

・関連リンク：(外部サイトにリンクしています)：[公益財団法人 京都古文化保存協会](#)

■ 京都非公開文化財特別公開 2025 年秋の公開

2025 年 10 月 25 日から 12 月 7 日まで、京都市を中心とした 13 カ所と京都府北部の 11 カ所の計 24 カ所がそれぞれの日程で、優れた建造物や寺宝・社宝を披露しました。

世界遺産の比叡山延暦寺(初参加)が法華総持院東塔の内部を公開しました。醍醐寺は国宝の五重塔を初開扉しました。尼門跡の大聖寺門跡も初参加し、本堂や宮御殿を披露しました。同じく尼門跡の光照院門跡、曇華院門跡も公開されました。府北部は、宮津市の智恩寺と国清寺、舞鶴市の金剛院と多禰寺、松尾寺、京丹後市の縁城寺、福知山市の天寧寺、観音寺、綾部市の正暦寺と安国寺、伊根町の浦嶋神社が参加しました。

・朝日新聞関連記事：

* 日程と参加社寺

10 月 25 日 [世界遺産の国宝本殿も間近に 京都非公開文化財特別公開はじまる](#)

9 月 4 日 [京都非公開文化財、24 カ所で公開：朝日新聞](#)

11 月 4 日 [非公開文化財特別公開、京都府北部の 11 寺社も参加](#)

* 社寺の紹介 (一部)

11 月 19 日 [重文「不動明王立像」間近で 京都・福知山の観音寺で公開](#)

11 月 14 日 [世界遺産・醍醐寺の五重塔 内部を特別公開 京都最古の国宝木造建築](#)

10月18日 [継ぐ法灯、漂う宮廷の雅 南北朝時代に創建、三つの尼門跡寺院を巡る](#)

10月31日 [世界遺産の寺、塔を特別公開 醍醐寺は京都最古、延暦寺は最澄ゆかり](#)

10月28日 [花の御所ゆかりの尼寺 大聖寺門跡も参加 京都非公開文化財特別公開](#)

* 記者たちの古都こぼれ話 (ログインが必要です)

11月6日 [「ご機嫌よう」メールの主は 気品漂う空間、文化継承する尼門跡寺院](#)

○ 連載記事：京都シン寺社案内 (月1回掲載)



京都の神社仏閣は、訪れるたびに新たな発見があります。毎月第4木曜日に地域総合面に連載している「京都シン寺社案内」の「シン」には「新しく」「深く」「真に迫った」という思いを込めました。

神社仏閣や文化財というテーマに特化した大阪本社「寺社文化財みらいセンター」の平野圭祐事務局長が現地を訪れて、興味深い話題をお届けします。デジタル版(別途契約が必要)は、本紙よりも記事内容が厚く、写真も多く掲載しています。

京都は千年の都として歴史が長く、この地で生まれ育った筆者もまだまだ知らないことだらけです。記事を通して、一緒にぶらりと京都の町歩きを楽しみましょう！

・朝日新聞記事まとめ [連載「京都シン寺社案内」](#)

■ 2025年の記事紹介 (ログインが必要です)

- ・11月22日 苔寺 [自然の摂理、ありのまま受け入れ… 禅の精神が生んだ「苔寺」](#)
- ・10月25日 神泉苑 [神泉苑 日照りや疫病鎮める「龍神」すまう池 守られた平安京の面影](#)
- ・9月27日 釘抜地蔵 [苦しみ抜き取る「釘抜地蔵」 弘法大師が掘ったと伝わる井戸、いまも](#)
- ・8月2日 貴船神社 [水の神まつる 溪谷の古社](#)
- ・6月28日 六道珍皇寺 [悲しみ伝える 冥界との境](#)
- ・5月31日 萬福寺 [隠元伝えた 中国文化の風](#)
- ・4月26日 建仁寺 [風神雷神 屏風に隠された謎](#)
- ・3月11日 平安神宮 [平安の美 復興した明治の京都を体感](#)
- ・2月11日 智積院 [数奇な運命 いまに伝える障壁画](#)

以上